



翠檜

あす なる

日の出町立大久野中学校
学校だより 第 6 号
令和5年10月2日

教育目標 「自ら進んで学ぼう 思いやりの心 感動する心をもとう たくましく 心とからだを鍛えよう」
あすなる物語（井上靖） 「あすは檜になろう、あすは檜になろうと一生懸命考えている木よ」



鶴の恩返し勉強法

校長 高橋 正充

始業式の講話で、「夏休み学力が身に付きましたか?」「学力って何だろう?」と問い掛けました。世間で言う「学力」とは、「テストの点数がとれる力」のことです。一方、文部科学省の言う「学力」とは、「世間で役に立つ力」を意味しています。更に言えば、「学力」とは「これから訪れる予想もしない**世界で圧倒的に役に立つ力**」を意味しています。

以前、私が受けた時代の教育は、とにかく「知識」の暗記重視の指導スタイルで「**詰め込み教育**」と言われていました。このため、試験が終われば生徒は直ぐに忘れ、結局何も身に付いていなかったり、落ちこぼれが出たりすることが懸念されていました。そこで次に「知識」よりも「思考力」を鍛える教育を重視した「**ゆとり教育**」がでてきました。このとき教科書が薄くなり、調べ学習なども重視され、完全週5日制にすることで学習内容や授業時間の量を減らしました。しかし、「ゆとり教育」はその後、国際学力テストの結果で順位を落としたことから「学力が低下した」と批判を受けました。この「詰め込み教育」と「ゆとり教育」の対立する考え方を一つにまとめたのが、現在の通知表の3観点、学力の3つの柱「**知識及び技能**」「**思考力・判断力・表現力など**」「**学びに向かう力、人間性など**」です。

中間考査が終了し、来月には三者面談が実施されます。期末考査に向けて暗記も重要です。しっかり頭の中に定着したほうがいいはずですが。誰もが試験で「暗記」に悩みます。以前、私の勉強法で「**ボールペン学習**」を紹介しました。消しゴムを使用せずボールペンでひたすら書きながら勉強します。書き直しなどの時間の無駄がないことや、ボールペンなのでたくさん書いても鉛筆より疲れないこと、書いた紙は取っておく必要がないことが利点です。最大の特徴は、努力するとインクが見える黒のボールペンの場合、黒インクが減っていく結果が目で見えるということでした。暗記重視の詰め込み教育には大変役に立ちました。



以前NHKの番組で、脳科学者「**茂木健一郎**」氏の「**鶴の恩返し勉強法**」を思い出しました。茂木さんによると長い記憶(暗記)を留めておく脳の場所は、見たり、聞いたりという五感をつかさどる脳の場所の近くにあるといいます。声を出しながらひたすら書くことは、記憶する脳の場所が活性化される効果があるそうです。「鶴の恩返し勉強法」とは

- ① 先ずテキスト(教科書等)を見ます。一時的に脳に記憶(暗記)させたら**テキストを閉じる**。
- ② 直ぐに、先ほど覚えたことを**声に出しながら(時には大声で)**、ノートに書いていく。
- ③ これを繰り返すだけ。

ポイントは、**一旦、覚えたテキストから目を離し、声を出しながら(時には大声で、身振り手振りが入ったら効果的)** 思い出しながら書くことです。こうすることによって「これを覚えろ!!」という信号が脳に出て、その情報が記憶されやすくなるそうです。

大声で、身振り手振りしながら、部屋で一人勉強している姿を見られることは恥ずかしいかもしれませんが。まるで昔話の「鶴の恩返し」で「誰も見てはなりませんね・・・」と言って、鶴が自らの羽を一本一本抜きながら機(はた)を織って命の恩人に渡そうとした場面に似ています。「誰にも見せられない勉強の姿」ということで、茂木さんはこの記憶術を「鶴の恩返し勉強法」と命名したのです。期末考査に向け、「**ボールペン学習**」に「**鶴の恩返し勉強法**」を併用するなど、自分自身の勉強方法を見付ける参考にしてください。



《学校休んだほうがいいよチェックリスト》(無料)

子供から学校に行きたくないと言われ、対応に悩む保護者が多いといえます。学校に行きたくないという子供の訴えや態度などを基に、**学校を休ませるかの判断材料**とするためのチェックリストを不登校生の支援団体が、精神科医・松本俊彦氏と共同開発しました。8月23日にネット上で公開され無料で利用できるようになりました。

子どもが「学校休みたい」「学校行きたくない」と言っているけど、休ませていいのかと心配になっている保護者がアンケート形式で20の質問に回答すると、その結果に応じて対応方法が示される仕組みです。**LINEに登録(必須)しチャット形式**でお子さんの最近の様子や、起きている事実を基に「はい」「いいえ」で回答するだけです。

登録 <https://branchkids.jp/lp/oyasumi-checklist>



《子供向けデジタルリーフレット》の抜粋 (令和4年11月東京都教育委員会)

《不登校って何?》

不登校とは、友達との関係で悩んだり、学習に不安な気持ちがあったりして、学校に通うことができないことをいいます。そのようなときは、不安な気持ちなどをがまんして学校に通うのではなく、家で休んだり、自分に合った方法で学習したりすることも大切です。

- **誰でも不登校になることがあります**
- **不登校は悪いことではありません**
- **不登校の子供が自分で決めた目標に向かえるよう、大人たちが支えます。**

2年生職場体験

9月14・15日実施
14ヶ所の近隣の職場体験を行いました。
体験から、働くことの大切さや今後の進路について考える機会となりました。



道徳授業地区公開講座

演題「気候変動と自己肯定感」
環境活動家 谷口たかひさ氏



生徒会本部役員決定

会長 1名
副会長 2名
庶務 2名

<部活動の活躍>

- 第8ブロック学校対抗陸上競技大会
 - 1年男子 100m 6位 13秒10 個人
 - 1年男子 1500m 8位 5分44秒12 個人
- 第8ブロックソフトテニス研修大会 優勝 女子ダブルス
- 東京都新人研修大会 5位 女子ダブルス

10月の主な予定

- 1日(日) 都民の日
- 2日(月) 朝礼
- 3日(火) 和太鼓発表会(3年)
- 4日(水) 小中交流会
- 6日(金) 第2回英語検定
- 8日(日) 修学旅行
~10日(火)
- 9日(月) スポーツの日
- 14日(土) 大久野小学校運動会
- 18日(水) 音楽会リハーサル
- 20日(金) 第2回進路説明会(3年)
PTA給食試食会
- 24日(火) 音楽会(弁当持参)
- 27日(金) 三者面談開始
~11月7日
- 30日(月) 生徒総会